

03 野田村シャレットワークショップ

Recovery Community and Urban Development for Noda Village

村に寄り添い、村民と共に野田村の将来像を考える



■活動地域

岩手県九戸郡野田村

■活動期間

2011年7月～継続中

■活動体制

工学院大学野澤研究室／八戸工業専門学校河村研究室／首都大学東京玉川研究室・市古研究室

■活動キーワード

東日本大震災／復興まちづくり／地方創生／民泊／交流

■2019年度活動メンバー

M1：宮崎裕子

B4：諸泉杏実

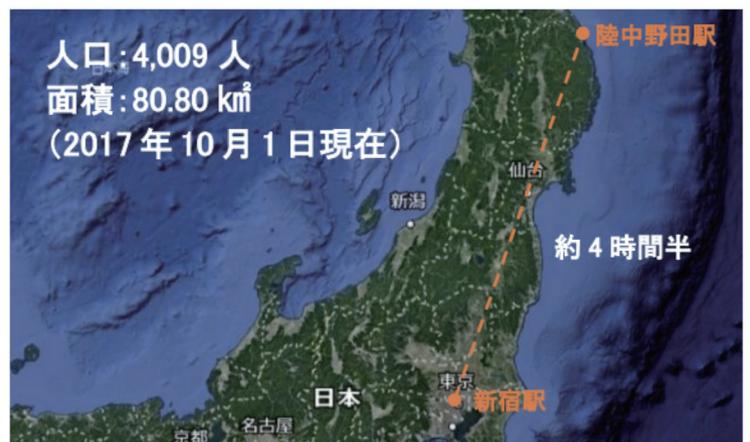
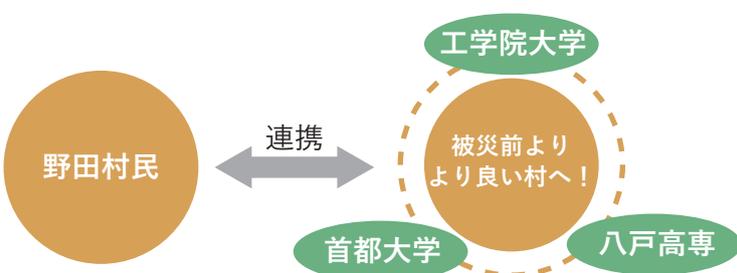
B3：奥津友里香、田苗和倫

対象地の概要

岩手県北部にある、太平洋に面した小さな村である。長くゆるやかな砂浜が続く「十府ヶ浦海岸」や清流「安家川」、「和佐羅比山」など豊かな自然に恵まれている。特産品には野田湾で採れる「ホタテ」や「ワカメ」、「ほうれん草」、「山ぶどう」や海水を数日間煮詰めて作る「のだ塩」などが有名である。

活動の経緯

2011年に起こった東日本大震災において、岩手県野田村では、津波によって村内の住家の1/3が被害を受け、中心市街地や漁港なども広域に渡って甚大な被害を受けた。2011年度より八戸高専の河村研究室、首都大学東京の玉川研究室と市古研究室、工学院大学の野澤研究室、計4つの研究室が主体となって、復興まちづくりを提案するCWSを行ってきた。この4つの研究室では都市や建築について勉強しており、その知識を活かしてまちづくりの提案を行っている。



昨年度までの活動

2011年度からCWS形式で復興まちづくりの提案を行ってきた。2013年度から、より村に寄り添った提案を行うために、夏に生業・民泊体験を行い、半年間かけて提案をまとめる形式へ変化し、この形式を引き継いで活動を行ってきた。村民と学生との距離を縮め、村に根付く提案を目指している。

2011
|
2012

震災直後の野田村において、商店街、参道や高台団地、中心市街地、防潮堤など村のハード面での復興をメインとした提案を行った。

2013
|
2017

ハード面での復興が進み、村での生業体験や民泊などを取り入れ始めた。村での体験や、学生と村民の交流を深めることを目的とし、提案を行ってきた。

2018

2013年度からの形式を引き継ぎながら、2018年度は村からの依頼を受け、野田小学校の改築をテーマに挙げたワークショップを行った。

今年度の活動内容

【今年度の活動目的】

野田村では復興が進み、近年では地方創生に目を向けてきている。野田村で活動する上で、村民との交流を深めることや、村で体験することを大切にしている。今年度は、

- ①野田村の伝統行事に参加することで野田村について改めて理解し村民との距離を縮めること、
 - ②写真を使って村の変化を発見することや、村での思い出や記憶を共有することで、村民が今後の野田村について考え、村民主体の村づくりにつなげること
- 上記2つを活動目的とした。

【野田まつり】

丸一日野田祭りに参加し、村民と一緒に山車を引いた。また、翌日のワークショップのチラシ配りなどを行った。

今回、野田まつりに参加したことで、野田村の普段とは違った表情を見ることができ、より野田村への理解を深めることができた。また、村民の方々が昔から大切にしてきた伝統に触れることで、村民との距離を縮めることができた。



【8月のワークショップ】

昨年度の冬に開催したワークショップ同様に、時代の異なる写真を用いて思い出を引き出すワークショップを実施した。昨年度からの応用として、ただ机の上だけで行うのではなく、実際に村を歩き、同じアングルで写真を撮影した。そして撮影した写真と選択した写真の今昔を見比べた。村内を歩くというプロセスを加えることで具体的な記憶を引き出したり、震災前後の村の変化をわかりやすく発見することができた。



【2月の報告会】

村役場の方々を中心に夏合宿の成果報告会と今後の野田村との関わり方や地域づくりについての意見交換を行った。また、村民の方々と一緒に、夏と同様の写真を用いたワークショップを行った。

一枚の写真から様々な話が広がり、現在の写真と見比べることで、村民の方々も新たな発見をすることができた。

【今年度の活動成果】

今回初めて村の伝統行事に参加することで、より村への理解を深め、村民との交流を深めることができた。そして、ワークショップを通して、村民の思い出や記憶を引き出したり、村の震災前後の変化を発見したりすることができ、村民が野田村の将来について考えるきっかけにもなった。また、夏の成果としてネット上で写真にまつわる思い出や今昔を比べることができる地図を作成した。今後このマップをいかに活用するかも考えていく。

